

Oracle + .NET

3つの言い



株式会社サンブリッジ・ソリューションズ
マーケティングストラテジスト
一志 達也 ICHISHI, Tatsuya
<http://www.sunbridge-sol.com/>

第 11 回

Webサービスクライアントを作ろう

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
 - Amazon Web サービス
デベロッパーキット (SDK)

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥ORACLEディレクトリに収録しています。

¥AWS_EXAMPLE1

今回作成したWebサービスクライアント

Webサービスを使うと

前は、Webサービスのメリットについてお話ししました。

Webサービスを使ったアプリケーションでは、データベースに直接接続するC/S型と違って、外部の関数を呼び出してデータを取得／更新します。また、インターネットの標準的なプロトコルであるHTTPやSMTPを使いますから、専用線を使わずにインターネットでデータのやりとりができます。これによって、Webアプリケーションよりもリッチなインターフェイスを提供する、先鋭的なWindowsアプリケーションを作成できるのです (図1)。

.NETでは、Webサービスのクライアントを作成することも、サーバーを作成することも可能です。この連載では、両方を紹介するつもりですが、今回はクライアントから作成してみることにしましょう。

今回作成するアプリケーション

クライアントから作成するといっても、呼び出すためのサーバーがなければ、どうしようもありません。しかし、その点は心配ご無用。まだまだ発展途上とはいえ、先進的な企業のいくつかは、自社のインターネットアプリケーションをWebサービス化して公開しているのです。有名どころでは、GoogleやAmazon.comがありますが、今回はAmazon.com (日本ですからAmazon.co.jpですね) を利用しましょう。

想定するシステムとしては、書籍の購買申請や会社経費で購入した書籍のデータベース化、実際の購買手続き (Amazonへの発注) などが考えられます (図2)。それとなく業務システムっぽく想定してみましたが、目的はWebサービスの使い方や魅力を理解していただくことです。夢は大きく持ちつつも、

図1：Webサービスの概念

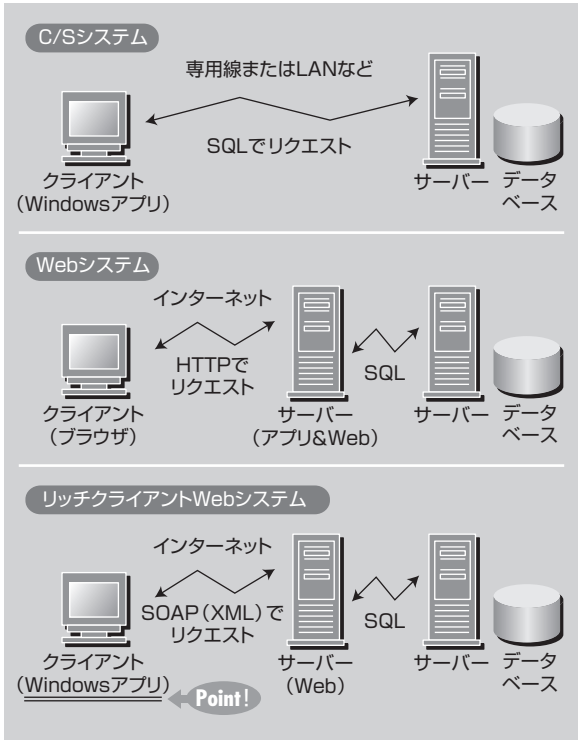
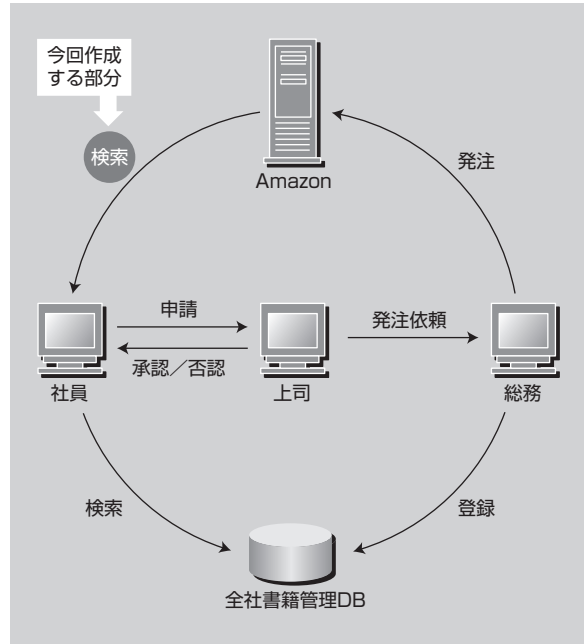


図2：Amazon Webサービスを使ったシステム



今回はAmazon.co.jpのサイトから商品を検索して、その検索結果を表示するところまでを作成してみます。

最初やるべきこと

アプリケーションの開発の仕方はさまざまですが、AWSにはどのような機能が備わり、それを呼び出すには

Column

Amazon Webサービスを使う準備

Amazon Webサービス (以下AWS) を利用するためには、事前にいくつかの準備が必要になります。ここで、その手順を簡単に紹介します。実際に試してみようという方は参考にしてください。なお、本サービスの詳細は、Amazon.co.jpのWebサイト (<http://www.amazon.co.jp/>) で「Webサービス」のページを参照してください (このページへのリンクはトップページ左下のほうにあるはず)。

AWSを使うためには、まずデベロッパーキット (SDK) をダウンロードし、次にデベロッパートークンを申し込みます (図A)。申し込みには電子メールアドレスが必要です。英語のページにジャンプするので、ちょっとドキドキしますが、電子メールアドレスとパスワードを2回入れるだけの簡単な手続きです。

申し込みを行なうと、画面上にデベロッパートークンが表示されます。これは、後でAWSのプログラムを呼び出すために必要です。入力した電子メールアドレスにも、デベロッパートークンを記載したメールが届きますが、念のためにメモなどしておくとも良いでしょう。デベロッパートークンの入手と、SDKのダウンロードが終わったら、ひとまず準備完了です。

図A：本家Amazon.comでIDを取得

Apply for an Amazon Web Services Developer's Toolkit

Getting Started

Account type: Individual Developer Amazon Web Services Developer

Applying for an Amazon Web Services Developer's Toolkit is an email-based process and a password. Please note: This token can be used for both Amazon.com and Amazon.co.uk Web Services. If you already have an Amazon.com or Amazon.co.uk login and you want to use it for your Web Services account, see [Link Accounts](#).

Your e-mail:

Enter password:

Re-enter password:

Please read the Amazon Web Services terms and conditions.

Amazon (as defined below) provides Amazon Web Services (as defined below) to you subject to the following conditions. This is a legal agreement between you and Amazon. In consideration of Amazon providing you with Amazon Web Services and by accepting Amazon Web Services (as defined below) or accessing Amazon Web Services you agree to be bound by the terms of this agreement ("Agreement") and consent to receive email newsletters and operational communications from Amazon Web Services. You may unsubscribe from the newsletter from amazon_devs_us@amazon.com.